



氏名 太田 珠代

フリガナ オオタ タマヨ

勤務先名 出雲医療看護専門学校

協会、士会役員歴・立候補趣旨

私の強みは、明るく、親しみやすく、行動力があるところです。この度、この強みを使い、2つの事を実行したく島根県理学療法士会の理事に立候補いたしました。1つ目として「女性の理学療法士が参加しやすい県士会作り」です。約15年前に理学療法士になり、学会部、総務部に所属している際に女性理学療法士の方々が結婚・出産をきっかけに、研修会や学会から離れていく姿を見てきました。ですが、女性としての視点も学会運営、県士会での運営に必要なだと考えており、ぜひ、女性の理学療法士の意見を県士会に提案する事が必要だと考えています。私自身の強みである親しみやすさを生かして、普段、県士会に対して伝えにくい事も相談会、意見交換会などを企画し橋渡しをしていきます。

2つ目として、「県士会の見える化」です。総務部で理事の皆さまをサポートしていた際に、1つ1つの会議で意見を出しあい、「会員のために」という言葉が多く出ており良い

県士会作りをされている姿をみました。総務部になるまでは、このような話合いをしているとは気付かず、何をしているかわからない状態でした。そのために、県士会に考えを伝える事もしてきませんでした。今回、理事になり県士会会員に、県士会の活動が見える化をする事により、会員の皆さまに安心感を提供すると同時に会員の皆さまの意見を吸い上げ、会員が必要とすることに対応できる県士会にしていきます。

現在、専門学校の教員として勤務しており、2020年は、新型コロナウイルス感染により臨床の現場での実習が困難な状況になりました。その際に、島根県理学療法士会からの発信で多くの理学療法士の方々に学生のために臨床思考、コメントなどを頂きました。とても感謝しております。完成するまでに、学校側の意見を聴いて頂き、多くの準備や打ち合わせ等を重ねていき完成した事に対し、受け身で待つのではなく、準備や作成等でお手伝いしたいという気持ちが芽生えてきました。